

## 目指せ男女共同参画社会

### 第2次三豊市男女共同参画プランを策定!

No.30



#### 一人ひとりが自分らしく輝くために

平成20年3月に「第1次三豊市男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けたさまざまな取り組みを進めてきました。男女共同参画社会の実現に向けた取り組みをさらに充実させるため、新たに市民アンケート・企業アンケートを実施し、外部委員で構成される男女共同参画社会づくり推進協議会の意見等を基に「第2次三豊市男女共同参画プラン」を策定しました。

プランの期間は、平成25年度から平成29年度までの5年間です。

「一人ひとりが自分らしく輝くために」を基本理念に、引き続き男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。

また、この計画は「配偶者の暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」に基づく三豊市における基本計画としても位置づけています。

◆ 第2次三豊市男女共同参画プランは、4つの基本目標と10の重点目標で構成しています。下のとおりです。  
詳しくは、市ホームページをご覧ください。（三豊市HP→三豊市の行政情報→男女共同参画）



<http://www.city.mitoyo.lg.jp/>

#### 基本目標Ⅰ 意識の改革

##### 重点目標

- ①男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直しと意識改革
- ②男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実



#### 基本目標Ⅱ 参画の推進

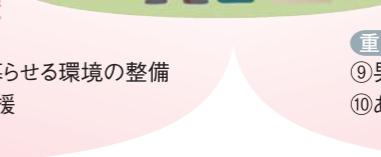
##### 重点目標

- ③政策・方針決定過程への女性参画の拡大
- ④家庭・地域生活と職業の両立支援
- ⑤雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保
- ⑥農林水産業・商工業での男女共同参画の確立

#### 基本目標Ⅲ 自立の支援

##### 重点目標

- ⑦一人ひとりが安心して暮らせる環境の整備
- ⑧生涯にわたる健康の支援



#### 基本目標Ⅳ 人権の尊重

##### 重点目標

- ⑨男女の人権が尊重される社会の実現
- ⑩あらゆる暴力の根絶

ワーク会議は、市内で活動している団体が情報の交換や発信を行いながら、互いに交流し、その活動を通して、さまざまな分野へ積極的に参画の機会を広げることにより、男女の区別なく、すべての人が自分らしく生き生きと過ごせる社会を目指し、活動しています。  
【対象】市内で活動している団体（女性団体に限りません）  
【年会費】1団体1,000円  
【申し込み先】三豊市男女共同参画推進ネットワーク会議申込書は、市ホームページからもダウンロードできます。  
【問い合わせ】三豊市HP→行政情報→男女共同参画→「三豊市男女共同参画推進ネットワーク会議」登録団体募集!  
随時募集しています。

##### 企画財政課

73・3010

男女共同参画推進ネットワーク会議登録団体募集!

市男女共同参画推進ネットワーク会議では、平成25年度登録団体を募集します。



がんばれ  
まちづくり推進隊

12

まちづくり推進隊とは、まちづくり活動をしたい人が自主的に集まる町を単位とする会員制の組織です。町民であれば誰でも会員になることができます。市から交付金を受けて、まちづくり活動をすることができます。

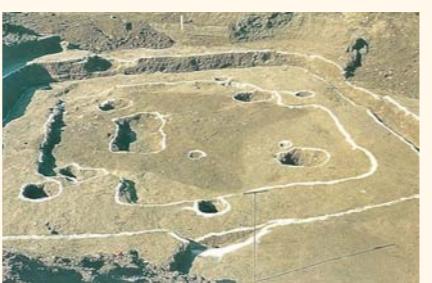
関係者の協力により、当初の計画よりも1年早く、7町すべてに「まちづくり推進隊」が設立されました。そこで2月23日に、まちづくり推進隊の役員と事務局職員の皆さん、

は、まちづくり活動をしたい人が自主的に集まる町を単位とする会員制の組織です。町民であれば誰でも会員になることができ、市から交付金を受けて、まちづくり活動をることができます。

##### ▼問い合わせ

地域内分権推進課  
73・3012

## 文化財を訪ねて③



▲発掘された住居跡

南草木遺跡

市内にある弥生時代の遺跡は、質が高く、重要な遺跡ばかりです。今回はその中からひとりの「市民力」と旧町時代から養われた「地域力」が連携することにより、新しいコミュニティづくりが展開されると期待しています。

平成25年度は、三豊市の地域内分権「元年」です。一人ひとりの「市民力」と旧町時代から養われた「地域力」が連携することにより、新しいコミュニティづくりが展開されると期待しています。

南草木遺跡は、仁尾町の南部にそびえる四国山の北麓に形成された舌状の台地に位置する、弥生時代後半の集落遺跡です。昭和50年に発掘調査が行われ、一辺約6.5mの四角形で、その隅が丸い竪穴住居は9本の柱が用いられ、その中央には煮炊きをするための炉跡も確認されています。

▶問い合わせ

生涯学習課  
62・1113

背後を山々に囲まれ、西方には美しい仁尾の海がひろがる場所に位置するこれらの遺跡は、縄文時代から弥生時代の長い間、人々が生活を営んでいた様子を今に伝える大変重要な遺跡です。  
※現在、遺跡は埋め戻されています。煙となり、説明板が立っています。